

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件 名 令和7年度鳥衝突情報の管理及び鳥衝突防止対策検討委員会の運営に関する業務

開 札 年 月 日 令和7年2月28日（落札決定日 令和7年4月1日）

入札執行官署 国土交通省航空局

落 札 金 額 ￥ 3,630,000 -

落 札 者 株式会社応用生物

予 定 価 格 ￥ 12,735,398 -

積 算 額 ￥ 12,735,398 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 11,577,635 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 7,641,239 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 6,946,581 -

低入札価格調査実施 第1回 落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘 要
	入札金額	入札金額	
株式会社応用生物	3,300,000		第1回 落札
株式会社総合環境計画□	7,500,000		

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

〈 落札者の決定について 〉

件 名 : 令和7年度鳥衝突情報の管理及び鳥衝突防止対策検討委員会の運営に関する業務

入 札 年 月 日 : 令和7年2月28日

入 札 場 所 : 国土交通省 航空局 入札室

上記入札について、予算決算及び会計令第86条第1項の規定により調査した結果、次のとおり落札者を決定をしたので、契約事務取扱規則第10条第3項の規定により公表する。

1. 落 札 者 : 株式会社応用生物

2. 落 札 者 決 定 日 : 令和7年4月1日

令和7年4月1日

支出負担行為担当官
国土交通省航空局長 平岡 成哲

低入札価格調査の実施概要（物品の製造又は役務の提供等）

件 名：令和７年度鳥衝突情報の管理及び鳥衝突防止対策検討委員会の運営に関する業務

発 注 機 関：国土交通省 航空局

調査対象業者名：株式会社応用生物

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	直接人件費について当該者が得た様々な知見や経験を最大限に生かし一層の効率化を図ることで鳥種特定調査に係る人工数を見直すとともに、直接経費の鳥種特定調査費や印刷費等の単価を見直すことで、直接経費等の抑制ができたこと等から、本入札価格での業務遂行が可能となり、低入札での応札を行った。
(2) 当該契約の履行体制	業務履行体制については、業務全体の総括を行う者を筆頭として、工程管理を行う等の担当者計５名を配置する予定であり、各担当者の業務も分担（補助含む）されている。 従って、履行するにあたり適正な体制となっており、特に問題は認められない。
(3) 当該契約期間中における他の契約請負状況	調査対象者は仙台空港有害鳥類防除業務の契約及びCSF 対策業務の契約（予定）があるが、③のとおり業務履行体制を構築することから、本請負の履行への影響はない。
(4) 手持機械等の状況	なし
(5) 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した契約件名及び発注者	国及び地方公共団体からの受注実績としては、国土交通省航空局による「鳥衝突情報の管理及び鳥衝突防止対策検討委員会の運営に関する業務」の受注実績があり、適切に業務履行されていることを確認している。また、同省東京航空局による「東京国際空港における鳥類の動向把握のための基礎調査」、大阪航空局による「航空機と鳥の衝突防止に関する鳥の生態調査（宮崎、松山及び那覇）」の受注実績がある。

(6) 経営内容	調査対象業者の経営状況は、決算報告書等から、健全な経営が行われていると判断する。 また、過去に受注した業務において、不履行を発生させたことはないことから、信用状況は良好と判断する。
(7) (1)から(6)までの事情聴取した結果についての調査検討	今回の入札金額について、資料の提示及び事情聴取の実施により、上記調査事項について、確認した結果、本件は入札価格が調査基準価格を下回っているものの、当該業者が契約履行を行うことについて、特段問題はないものと認められる。
(8) 信用状況	調査対象業者の経営状況は、決算報告書等から、健全な経営が行われていることを確認した。また、過去に受注した業務において、不履行を発生させたことはないことから、信用状況は良好と確認した。
(9) その他の必要な事項	特になし。